

(別紙様式)

業務改善の実施状況報告

組織名	大臣官房統計部センサス統計室	連絡先	03-3502-0739
所管する業務の概要	農林業センサス、漁業センサスを始めとした我が国の農林漁業の構造を把握する統計調査の実施		

1. 職員の基本的な心構え・行動について	
・これまでの取組実績及び現在実施している取組	・今後の課題とその改善策
○廊下ですれ違った人に対し、挨拶または会釈をし、来省者の方など、席次を見て用務先を探している人に対し、ご案内するよう心がけている。 ○日頃からアンテナを高く張り、担当以外の業務や省内外の施策、その方向性などを把握するよう心がけている。 ○外部からの照会については、親切・丁寧な対応を基本とし、専門用語を避け、解りやすい回答に努めている。 ○ユーザーの求めているデータの内容について、丁寧に聞き取りを行い、担当以外の照会やその他関連統計についても、事実誤認のないよう、丁寧な案内・説明を心がけている。 ※「業務再点検の実施方法について（平成21年8月3日農林水産省改革推進室事務連絡）」（以下「業務再点検の実施方法」という。）の公表用様式の1. 基本的な心構え・行動に分類される取組について記載する。	○所管業務である統計情報の提供に際しての心構えや行動は適切に対応できている。 一方、政策外交員としての取り組みを充実させるため農林水産施策の展開や課題に関する情報について、日常的に各種情報媒体を活用した周知を行い、個々の職員が自発的に取り組めるよう情報共有を図っていく。 ※現在の取組状況を踏まえ、今後の取組方針として、生じている課題とそれを解決するための改善策を具体的に記載する。

2. 国民視点に立った業務の遂行について	
・これまでの取組実績及び現在実施している取組	・今後の課題とその改善策
○現場、地方統計組織の意見等を的確に収集するため、機動的なテレビ会議の実施や業務掲示板などを通じて、本省へ意見をあげやすい環境づくりを心がけている。 ○調査の事前・事後において現場の意見・要望を収集し、次回調査の企画立案に努めている。 ○公表結果については、国民にも理解しやすいよう工夫し、解りやすい解説の作成や関連データの整理・把握を行っている。 ○取材後の報道状況については、事実誤認等がないかどうか各種メディアを注視している。 ○統計数値や各種文書の確認については、担当だけではなく複数の者によるチェックを行っている。 ○班内ミーティングを週1回をめぐりに実施し、リスク管理の徹底を図っている。 ○リスク管理の一つとして室内の業務スケジュールを一元管理し、特に外部や地方統計組織の負担を招く業務遅延の有無について定期的に確認を行っている。 ※「業務再点検の実施方法」の公表用様式の以下の事項に分類される取組について記載する。 2. 政策・事業（業務）等の企画立案・推進に関する取組 3. リスク管理に関する取組 4. 食の安全に関する取組	○地方統計組織の意見を的確に把握するため、特定の調査においてテレビ会議をタイムリーに行ってきたが今後は、業務全般を対象に意思疎通を図るためテレビ会議を有効に活用していく。 ○業務遅延や失念等のリスク管理の一つとして業務スケジュールを定期的に更新し一元管理することにより、計画的かつ効率的な業務運営が行われている。 しかしながら、一部の公表資料に誤りが発見されたことから、今後の公表資料の作成に当たっては、複数の者による審査を徹底し、再発防止を図っていく。

3. 業務を適切かつ円滑に遂行するための職場環境づくりについて	
・これまでの取組実績及び現在実施している取組	・今後の課題とその改善策
○職場の雰囲気作りについては、日頃からコミュニケーションをとるよう努めている。 ○班内ミーティング等を行い、各業務の進捗状況について班内で共通認識を持つこととしている。この際、業務に遅れが見られる場合等は、その解決策も含めて協議している。 ※「業務再点検の実施方法」の公表用様式の5. その他の重要な取組の内、部署用様式の5 円滑な組織運営の実現に分類される取組について記載する。	○特段問題はないものの今後とも各自が業務に追われ周囲への「目配り」、「気配り」が疎かにならないよう、日頃から班内ミーティングを定期的に行ってコミュニケーションを欠かすことのないように心がけ、余裕を持った業務運営ができるようスケジュール管理の徹底を図っていく。

4. その他の農林水産省改革を進めるための取組について	
・これまでの取組実績及び現在実施している取組	・今後の課題とその改善策
1. ～ 3. に分類できない取組があれば、この欄に記載する。	